

会長・副会長さんを始め、当日の道具係のお父さん達、みなさん、ありがとうございました。運動会の翌日は、子どもたちの一つ乗り越えた達成感の溢れる顔つきや姿が見られました。いつも声の小さかった子が、自分から「おはようございます！」と元気に挨拶をしたり、「先生、やってー」と言っていた子が、何も言わずに身の回りのことを全て自分で済ませたり、運動会を通してお家の方にたくさん褒めてもらったことが嬉しくて、次への自信につながっているように感じます。また、和太鼓のワークショップではお家の方の太鼓を打つ姿の美しさや、保護者競技の綱引きでは「気合い！」の入ったお家の方の姿に、子どもたちも次はほくたちの番！と、さらに意欲的でやる気になっていましたね！
たくさんの温かいご声援、本当にありがとうございました！



「負けない心」「やさしい気持ち」「がんばる心」が無限大！！<ほし組>

親子ふれあいダンスを参観でさせてもらった次の日、ほし組だけで「クロススキップ」の練習をすることになりました。「クロススキップでお母さんたちが交代したのを覚えてる？」と聞くと自信満々に「覚えてるー！」と言ったので、親役と子ども役の2チームに分けてやってみると・・・なんと一回でそれぞれの役になりきって交代できたのです！一回経験しただけで出来る子どもたちのすごい能力を目の当たりにした瞬間でした。その後、はな組との合同練習では、ほし組が保護者役をして「最初は、右手からやで〜。」「次は、うさぎさん！」と先生と一緒に口調で、はな組にやさしく声をかける姿も見られお兄ちゃんお姉ちゃんぶりを発揮していました。他にも、今回の運動会では色々な並び方をしたのですが、遊びの中でたくさんの並びっこあそびをしていた事もあり、当日もサッと並びることができていました。5月から運動会練習で体育館へ行きましたが、ほし組になってまだ数ヶ月！その中で、運動会を通して一人ひとりが自信を持って参加することができ、何事にも挑戦しようとする意識が芽生えてきました。

保育参観の時はパラバルーンのサイズが小さいものでしていましたが、当日は大きなパラバルーンで勝手が悪く、玉が上手くとばなかったのが残念でした。来年は参観の保育から力を入れるぞと思っています。



仲間の存在・・・<そら組>

そら組になったら・・・と憧れだったり、和太鼓に組体操・・・と意欲的に取り組む中、練習を重ねるうちに次第に子ども達が感じ、変わっていく姿が見られました。

組体操は一人の個人技から始まり、二人・三人とグループでの技、そしてクラスみんなでの技になっていき、友だちと作り上げていく事の気持ち良さを感じている様子がありました。友だち同士でささいな喧嘩があった日、組体操のウェーブが上手く出来ずに終わり、子ども達と昨年の運動会のビデオを見ました。

「うわーきれい！」「立つところ揃ってるな〜」とまじまじと見ており、子ども達一人一人の気持ちが一つの目的に向かって固まった瞬間に感じました。

友だちと目と目を合わせる、息を合わせて最後までウェーブを成功させる。そして最後の富士山の完成！には、当日の拍手が鳴り終わるまで、グッと我慢し決めポーズ！

今年は、例年にも増して一つ一つの技にどれも大きな拍手を送って頂き、家族の方やお客さんの前で子ども達は堂々と見てもらえる心地よさを味わいながら演技ができました。

我慢したり、友だちの事を認めたり、みんなで力を出し合い、助け合い、作り上げた組体操が、子ども達の最後の運動会の忘れられない思い出、力となりました！